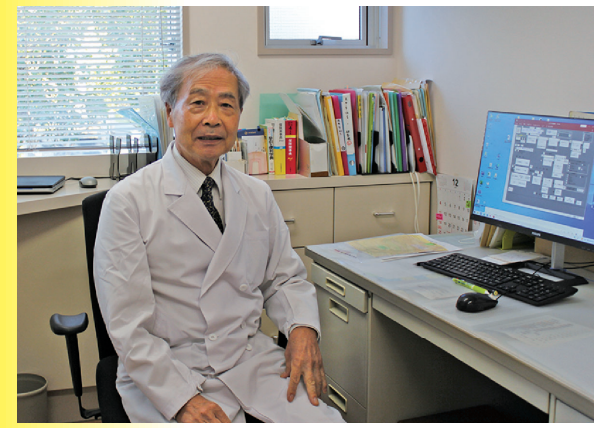
令和４年 秋の叙勲

令和４年11月３日に発令された、令和４年秋の叙勲の市内の受章者を紹介します。

秋の叙勲

旭日双光章（保健衛生功労）

宇賀（うか）　四郎（しろう）さん（76歳）
土佐山田町栄町

宇賀さんは、昭和45年に医師になられて以来、山田小学校校医や香美署産業医、高知県医師会の理事を長年務められるなど、幅広い分野で活躍され、市民の方々の健康増進に大きく貢献されています。また、平成21年に四国管内警察局長賞、平成28年に香美市市民賞など数多くの表彰を受けております。

宇賀さんにお話しを伺うと、「私が特に力を入れて取り組んでいたのは、異常死体を検案して死因を確かめる『死因究明』です。医師としての重要な役割の一つなのですが、なかなか日の目の当たるものではないため、死因究明を行う医師は少なく、香美市外からも連絡が入り、検案したことも多くありました」とお話しいただきました。

宇賀さんの趣味は山登りで、今でも、甫喜ヶ峰や五台山には登っているが、来年は若いころに登っていた三嶺に挑戦したいと話されていました。

また、市民の皆さんにお伝えしたいこととして、「生活習慣病には注意してもらいたい。親の生活習慣は子どもにも影響するので、偏食を避け、多くの種類の食材を食べるよう心掛けてください」とアドバイスをいただきました。

秋の叙勲

瑞宝双光章（教育功労）

時久（ときひさ）　惠子（けいこ）さん（74歳）
土佐山田町須江

時久さんは、臨時教員から教員人生をスタートされ、続けて、大宮小学校教諭、高知県教育委員会香美教育事務所指導主事・指導班長、楠目小学校長、香美市教育長などと、長年にわたり、教育現場で活躍されております。また、香美市教育長を務めながら、県全体の教育の向上を検討する高知県市町村教育委員連合会の会長を任されるなど、市内外の教育の発展に大きく貢献されています。

「教育が発展していくためには、教員が一方的に教え込むのではなく、子ども達が主体的に学習に取り組み、『探究』することが重要なことだと考えています。また、学校だけではなく、保護者や地域の皆さんが共に知恵を出し合い、子ども達の成長を支えていくことが大切なことです。」とお話しいただきました。この思いをもとに、教育長の際には「探究あふれる　学園都市（まち）　香美市」を目指した『香美市よってたかって教育』の実現に向けてご尽力されました。

最後に、「教諭、校長、教育長などを務めさせていただきましたが、どの場面においても、周りの方の応援、力添えがあったおかげで、取り組んで来られました」と感謝の気持ちを述べられていました。

気になる木の仕事

９月９日、大栃小学校の３～６年生の12名と香美市の木に関わる３つの仕事について学ぶ体験林業学習が実施されました。講師は物部森林組合、物部森林ストックヤード、北村製材所（木材加工業者）の皆さんで、実際に働いている現場や事業所で、木に関わる仕事について学びました。

切った木を架線で集材している様子や林業機械に乗ったり、製材された角材と端材を組み合わせて元の丸太にするパズル等の体験を通し、参加した子ども達は香美市の宝である木に関わる仕事について、より深く学んでいました。

秋のおもてなし一斉清掃

10月25日、高知県と高知県おもてなし県民会議が主催する『秋のおもてなし一斉清掃』が香美市でも行われました。おもてなし一斉清掃は、美しい環境で観光客をお迎えすることを目的に、高知県内の市町村で行われています。地元の方や近隣の事業者など総勢110名が参加し、やなせたかし記念館アンパンマンミュージアムや龍河洞などの観光施設周辺や、土佐山田町内の商店街などを清掃しました。

参加者は植込みや側溝などを入念にチェックし、缶やビン、壊れた傘などのゴミを拾いました。

香美市森林環境税活用事業　申し込みいただいた方からの投稿を募集しています！！

かみんぐBABY木のギフト

『木のギフト』お便り紹介

はなびちゃん
木の香りにとても癒されます。積み上げ方を考えながら楽しく積んで遊んでます。動物の形もかわいくてお気に入りです。

※香美市から木のギフトを受け取られた皆さんからのご感想、写真を募集しています。
投稿者の氏名、写真、写真に映っている方の名前（ペンネームで構いません）、感想を、下記メールアドレスまでお送りください。

『ぷらっとホームMoku』のご協力により、南国市十市パークタウン内で木のギフトを手に取ってご覧いただけるようになりました。

←場所等はこちらをご覧ください

香美市の赤ちゃんに『木のギフト』をプレゼントしています。詳しくは、新生児訪問の際にお渡しするパンフレットまたは、香美市ホームページ内の特設ページをご覧ください。

【問い合わせ先】農林課林政班　☎52－9283　Ｅrinsei@city.kami.lg.jp